

九州学生ソフトテニス連盟 令和6年度活動指針

(1) “各宣言を実行する”

① 日本ソフトテニス連盟等各宣言の実行に向けて

◎環境宣言「来た時よりも美しく」

課題である“ゴミの持ち帰り（特にペットボトル、缶）”の徹底、喫煙マナー（喫煙範囲の遵守、灰皿への空き箱やゴミ投棄の排除）の向上に取り組みます。

◎日本スポーツ協会宣言「挨拶 ありがとう」

◎フェアプレー宣言「ありがとう あなたの笑顔とそのマナー」

★宣言の実行及び学生間の交流を広げることを目的に、試合後の握手を推奨します。

具体的には、団体戦後の握手ルーティン（サッカーやバレー形式）を実行します。

※試合後、サーブラインに整列し審判の裁定後に礼。その後、勝者チームの先頭者（審判台寄り）からネットへ向かい後者が順に続く、敗者チームは一斉にネットへ向かう、勝者先頭者が敗者チーム先頭者から順に全員と握手を行い、自チーム側ベースラインへ向かう。敗者チームは勝者チーム全員との握手を終え、自チームベースラインへ向かう。

★選手及びベンチや応援全てが気持ちよくゲームを行うために、試合中のマナー向上に取り組みます。具体的には、判定への“質問”の態度の改善（審判への敬意、謙虚な姿勢）、審判の技能向上（明確な判定・コール・円滑な進行）、団体戦でのチーム応援の改善（コートへの近寄り禁止、節度ある言動）を実行します。

(2) “九州学連の活性・自律・自立”

② 学連役員活動方針

◎理事長を中心とした運営の確立を目指します。学生主体による運営を目指し、以下の組織運営により一人ひとりの自立・自律を図ります。

- ・大会進行や問い合わせに関する意思決定は、理事長が行う。→ 会長・副会長は相談役
- ・各委員会業務の意志決定は委員長が行い、理事長への報告を徹底する。
→ 役割分担を明確にし、理事長・副理事長は管理・統括に専念する。
- ・役員個々が規約、ハンドブック、大会要項を熟知し、根拠を持った判断を行う。
→ 自分の考えを持って、理事長、委員長に報告、相談を行う。
- ・役員業務への主体的な取り組みが見られない場合、更迭することがある。

③ 九州学連の魅力が社会へ広く発信し、認知向上を目指し、以下のような広報活動（業務）の確立により加盟大学・登録者の拡大に取り組み、普及・活性化・競技力向上を目指します。

- ・報道委員の活性化
- ・各媒体（HP、X、Instagram）の対象と目的を仕分けし、相応の掲載を行う。
- ・日本連盟 HP やソフトテニスマガジン、地元メディアへのリリースを行う。
- ・高校生へのアプローチを実施する。→ 各大学と近隣高校との交流活動推進。
SNS フォロワーの拡大推進。